

令和7年度 第1回学校運営協議会 議事録

日時 令和7年5月1日（木）15時～

場所 県立下総高校会議室

（1）開会のことば（教頭）

（2）学校長挨拶

（3）学校運営協議会委員任命

学校運営協議会委員になられた方々へ任命書を交付。

任期は、令和8年3月31日までとなる。

（4）委員紹介（教頭）

冊子の2ページの開催要項に委員の方々の一覧が掲載されている。

（5）日程説明（教頭）

本校における学校運営協議会は、4年目となった。

地域連携を進めることで本校の学校教育活動をよりよいものにしていくとともに、下総地区、成田市で生徒が活動させていただくことで、地域の活性化につながれば大変ありがたい。

（6）正副会長及び地域コーディネーター選出

会長 関川委員

副会長 小澤委員

地域コーディネーター 根本委員 に決定

（7）議事（ここからの進行は会長）

（ア）令和7年度学校運営の基本方針等について

①学校長より

・学校教育目標・重点目標について

：資料P4～5に示した学校教育目標・重点目標は、前校長の目標を継承する。特に、ものづくりを通して相手の立場に立って考える創造力を生徒に身につけさせていきたい。

・教職員数について

：現時点で常勤の教職員が 57 名、うち事務の職員が 3 名在籍。年齢別に見ると、60 代が 12 名、50 代が 11 名、40 代が 9 名、30 代が 15 名、20 代が 10 名、平均年齢は 45 歳となっている。このスタッフで学校経営をしていく。課題としては、事務職員が 3 名しかおらず、仕事を抱えている点がある。

②質疑応答

なし

③学校運営基本方針の承認

今年度の学校教育目標・重点目標については承認された。

(イ)各分掌の取組

①教務部

・学校説明会、体験入学について

資料 P22 に記載のとおり、1 年間を通して 2 回の学校説明会と、1 回の体験入学を実施している。昨年度は 7 月に実施された第 1 回学校説明会に参加した中学生が 56 名、秋の体験入学に参加した中学生が 36 名であった。例年、体験入学の参加者が減少傾向にある。体験入学に参加した中学生の数はその年の入学者選抜の志願者数と同程度である。そのため、なるべく学校説明会や体験入学に参加してもらうために、6 月と 9 月に中学校訪問を実施し、中学校の教員に本校の PR やイベントの告知を行っている。

・転退学者状況について

令和 6 年度は例年より転退学者が少なかった。希望に沿わない入学が少なかったことと、教職員のきめ細やかな指導によるものだと考察される。

②進路指導部

・令和 6 年度進路状況について

資料 P23 に記載のとおり、令和 6 年度は学校斡旋、縁故等を含めて 40 人の生徒が就職している。

・令和 7 年度進路希望調査について

今年度卒業予定者 49 名のうち、就職希望（学校斡旋、縁故含む）が 25 名、進学希望が 24 名となっている。今年度も生徒が希望の進路に進めるよう、支援していく。

③生徒指導部

・特別指導に関して

令和 6 年度の特別指導に関する案件は令和 5 年と比べて減少している。今年度もこれまで大きなトラブルはない。しかし、近年、生徒の不注意から指導の対象になる件がある。他校では、校内での薬物使用、バイクの使用などで特別指導の対象となった件が報告されている。

・バイクの免許取得について

令和 7 年度より 16 歳以上の生徒はバイクの免許取得を許可制とした。現在、本校は通学にバイクの使用は原則許可しておらず、学校への通学使用には条件があります。

今後、時代に合わせて生徒心得の見直しなどを継続的に行っていく。

④質疑応答

Q. 資料 p.23 に記載されている過去 5 年間の進路状況について、令和 5 ～ 6 年では、令和 2 ～ 3 年に比べて卒業生の数が半数近く減少している原因は何か。

→園芸科が 2 クラスから 1 クラスに変更となったため、卒業生の数が減少している。

（８）分科会協議

「学校教育活動支援」、「地域連携推進」、「広報推進」に分かれ、リーダー選出後、協議を行う。

（９）分科会報告

①学校教育活動支援

・高校から求められていることをもとに話し合いを行った。

・委員の方々による面接指導に効果があった、今年度もぜひお願いしたい。今年度は 7/31 及び 8/1 に実施予定。

・PTA と合同で通学路の安全指導を 5/30 の登校時間帯（7:20～7:50）に実施予定。

・行事などで生徒の様子を見ることはあるが、それ以外で普段の生徒の様子を見る機会は少ない。こうした活動をととして生徒の実態をつかみ、生徒の求めに応じた活動をすることを目指したい。

- ・成田空港（職場体験など）や下総みどり学園（子どもたちとの関わり）などと連携ができるのではないかな。

②地域連携推進

- ・学校行事への参加を予定している（食育連携、進路ガイダンス、授業公開など）
- ・空港と連携して木材チップを使った加工品（コースターやブックエンド）の開発を進めていく。
- ・園芸科との交流はあるが、自動車科や情報処理科との交流が少ないため、面接指導等を通して交流をしていきたい。

③広報推進

- ・広報冊子を 7000 部作る予定。
- ・園芸科、自動車科、情報処理科についてそれぞれ A4 判一面を使って紹介する。
- ・予稿ができた段階で生徒会や農業クラブに集ってもらい、生徒の意見を反映させる予定。
- ・多くの子どもたちに反応してもらうために、各部会の意見を取り入れながら紙面づくりをしていく。

（10）事務局からの連絡

- ・第 2 回、第 3 回の運営協議会開催日の確認

第 2 回：1 1 月 2 2 日（土）（本校の文化祭小御門祭の日）午後 3 時開始予定

第 3 回：1 月 2 3 日（金）（校内の課題研究発表会の日）午後 3 時開始予定

（11）閉会の言葉（教頭）